

平成 30年
3 月定例会

No. 140

議会だより



ましこ

3 月定例会審議結果	2 ~ 4
一般質問	5 ~ 10
常任委員会活動	11
町民の声	12



益子小ピカピカの新1年生！

特別会計 51 億円

★国保制度の改正により
財政の運営主体が県に移
管されたことが減額の主
な要因です。

会 計 区 分			本年度予算額	前年度予算額	前年度対比
一 般 会 計			77億 1,000 ₀ 万円	77億 5,000 ₀ 万円	0.5%減
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		27億 2,500 ₀ 万円	33億 6,100 ₀ 万円	★ 18.9%減
	後 期 高 齢 者 医 療		2億 500 ₀ 万円	1億 8,300 ₀ 万円	12.0%増
	介 護 保 険		15億 6,902 ₀ 万円	15億 7,366 ₆ 万円	0.3%減
	内 訳	保 険 事 業	15億 6,300 ₀ 万円	15億 6,900 ₀ 万円	0.4%減
		サ ー ビ ス 事 業	602 ₀ 万円	466 ₆ 万円	29.0%増
	公 共 下 水 道 事 業		5億 600 ₀ 万円	5億 5,200 ₀ 万円	8.3%減
	農 業 集 落 排 水 事 業		9,900 ₀ 万円	9,600 ₀ 万円	3.1%増
合 計			128億 1,402 ₀ 万円	135億 1,566 ₆ 万円	5.2%減

◆は未来計画です！



議案	平成 30 年度 一般会計当初予算															
議員名	直井 睦	高橋 家光	磯部 浩	高野 美晴	小島 久之	高橋 美江	日渡 守	岩崎 秀樹	河原 誠	星野 壽男	加藤 芳男	長岡 景介	黒子 秀夫	高橋 正則	小島 富子	廣田茂十郎
賛否	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

権限が県から町になります。

居宅介護支援事業所の指定

○益子町指定居宅介護等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

○益子町子ども子育て支援拠点施設設置及び管理に関する条例の制定 **（全員賛成）**

子育てに関する相談や情報提供などの子育て支援を行う施設で、施設の名称や業務内容を定めました。

○益子町子ども子育て支援拠
点施設設置及び管理に関する
条例の制定
(全員賛成)

(全員賛成)

条例の改正

○ 益子町税条例の一部改正

(全員賛成)

固定資産税の全期前納報奨金制度を、平成31年度課税分より廃止するものです。
影響額は約590万円です。

○ 益子町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正(全員賛成)

国において「特別職の職員の給与に関する法律」が一部改正されたことに伴い、準用する国会議員の手当等に関する法律中の期末手当の支給率が改正されたため、町議会議員についても同様に改正するものです。

○ 益子町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

(全員賛成)

町議会議員と同様に、人事院勧告に合わせた国の法律改正に準じて、町の特別職の職員についても、期末手当の支給率を年間で0.05ヶ月分引き上げるものです。

○ 益子町一般職の給与に関する条例の一部改正

(全員賛成)

国において「一般職の職員の給与に関する法律」等の一部を改正する法律が公布され、俸給表等が改正されたため、町職員についても同様に改正するものです。

○ 益子町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正

(全員賛成)

一般職と同様に国に準じた給料表等の改正です。

○ 益子町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

(全員賛成)

一般職の給与に関する条例の特例規定終了に伴う関連規定の削除です。

○ 益子町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

(全員賛成)

国の法律改正に合わせた改正で、非常勤職員について子が2歳になるまで育児休業が取れる場合の規定の追加です。

○ 益子町情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部改正

(全員賛成)

改正個人情報保護法の施行に伴う改正で、個人情報の範囲の明確化などです。

○ 益子町介護保険条例の一部改正

(全員賛成)

省令改正による保険料算定の基準所得金額の変更等に伴う改正です。

○ 益子町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に係る基準等を定める条例の一部改正

(全員賛成)

介護医療院の新設や共生型地域密着型サービスに関する基準の新設に伴う諸規定の追加などです。



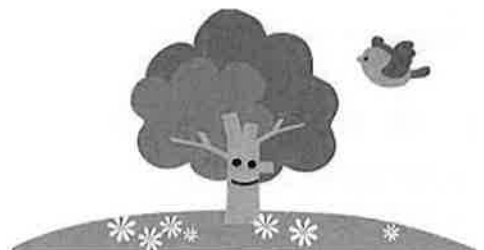
平成 29 年度補正予算

平成 29 年度 3 月補正予算は全員賛成により可決されました。

会 計 区 分		補正前の額	3 月補正予算額	合 計
一 般 会 計		81億 9,711.4万円	2,257.8万円	82億 1,969.2万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	34億 1,716.1万円	△ 1億 5,920.4万円	32億 5,795.7万円
	後 期 高 齢 者 医 療	1億 9,624.5万円	△ 123.7万円	1億 9,500.8万円
	介 護 保 険	16億 5,700.1万円	△ 8,759.5万円	15億 6,940.6万円
	内 訳			
	保 険 事 業	16億 4,831.1万円	△ 8,759.5万円	15億 6,071.6万円
	サ ー ビ ス 事 業	869.0万円	—	869.0万円
計	公 共 下 水 道 事 業	5億 6,048.5万円	△ 1,455.0万円	5億 4,593.5万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億 466.5万円	53.0万円	1億 519.5万円
合 計		141億 3,267.1万円	△ 2億 3,947.8万円	138億 9,319.3万円

【一般会計補正予算の主な内容】

- ・ 小学校衛生設備改修事業 9,672 万円 (翌年度へ繰越)
- ・ 地籍調査費 3,925 万円 (同繰越)
- ・ 中学校武道館天井改修事業 3,610 万円 (同繰越)
- ・ 除雪時機械借上料 400 万円
- ・ 道の駅駐車場整備工事 270 万円



6名の議員が登場！

一般質問

星野 壽男 議員 5 ページ

1. これからの道の駅について
2. 西部地区の下水道工事について
3. 地域おこし協力隊について
4. これからの益子町について

磯部 浩 議員 6 ページ

1. 当初予算について
2. こども食堂について
3. 町内の県道の整備について

日渡 守 議員 7 ページ

1. 未来にはばたく人財の育成について
2. 地方創生の取り組みについて
3. 平成館を利活用した平和の発信について

岩崎 秀樹 議員 8 ページ

1. 教育について
2. 町政運営について

直井 睦 議員 9 ページ

1. 町有公共施設等および町有地について
2. 平成館について

河原 誠 議員 10 ページ

1. 教育行政について
2. 町有財産について

○益子町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等を定める条例の一部改正 (全員賛成)

介護医療院の新設に伴う諸規定の追加のほか、前条例改正と同様に、共同生活介護者に対する身体的拘束の諸規定も追加されます。

○益子町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準条例の一部改正 (全員賛成)

障がい者の日常生活支援及び社会生活を総合的に支援するための法律改正により、指定特定相談支援事業者に係る規定が追加されました。

○益子町国民健康保険税条例の一部改正 (全員賛成)

国民健康保険税基礎課税額の上限を81万円から89万円に増額するものです。

○益子町国民健康保険財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正 (全員賛成)

国民健康保険の財政運営を県が担うことに伴い、基金の処分方法が改正されます。

○益子町後期高齢者医療に関する条例の一部改正 (全員賛成)

75歳到達により国民健康保険から後期高齢者医療保険に加入する際に住所特例制度が引き継がれる改正です。

○陶芸メッセ・益子の設置及び管理運営に関する条例の一部改正 (全員賛成)

○フォレスト益子及び益子町天体観測施設の設置、管理及び使用料に関する条例の一部改正 (全員賛成)

いずれも運営委員会を廃止するものです。

○益子町都市公園条例の一部改正 (全員賛成)

都市緑地法等の一部改正に伴う政令の公布により、各都市公園全体の敷地面積に対する運動施設の面積割合の上限を地方自治体で定めます。

○益子町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正 (全員賛成)

都市緑地法等改正との整合性を図り、七井第1地区C地区区域内の老人ホーム等の建築制限を解除するものです。

食事のメニューをもっと増やそう

星野 現在、道の駅ましこは、入場者数、売上げ共に順調に軌道にのっているようです。但し食事に関してはメニューが少ないとの声を聴きます。この事についてどう考えているか。

そのような建物を新たに建設してはいかがか。

農産課長

やはり町の方の計画の中で道の駅カンパニーと協議しながら検討していきたいと思っています。

町長 今後厨房の改装をしていきながら、商品構成や内容の充実を図りながらメニューを増やし、お客様の満足度をさらに向上させていきたいと考えています。

星野

これから町の拠点となるようにたくさんイベントを行い道の駅を盛り上げていかなければならないと思います。それには駐車場が足りないと思います。新たに駐車場を広くする考えはあるか。

星野

現在の厨房や食事をするところが狭すぎると思います。建築大賞に選ばれたほどの素晴らしい建物です。今の建物は改造しないで麺類やフード類が気軽に食べられるように考えています。

町長

現在小型車が138台、大型車が12台分の区画を整備していますがイベントがある時にはお客様にご迷惑をかけています。駐車場問題の解消を図るため東側に約60台

分の駐車場を新たに整備することになっていきます。

星野

これから貸自転車を利用してポタリングガイドツアーを行う話を聞きましたがどのような内容か。

産業建設課長

道の駅からの貸自転車のツアーでございませう。列車や自動車で道の駅にきた方に町の中を歩いていただくためのサイクリングツアーで年6回ほど予定しています。

下水道の見直し工事について

星野

西部地区の下水道工事が順調に進んでいます。が、工事から漏れたところに対し5年に一度工事の見直しをしています。どのような条件が揃えば埋設工事をしてもらえるのか。

建設課長

以前は8割以上でした。が、さらに見直しについてはそれ以上の同意率をもって実施すべきと考えています。できれば100パーセント近い同意率が欲しいと思っています。

協力隊が定住に繋がるように

星野

地域おこし協力隊に對し、益子町では行事に對しお手伝い感覚で募集して

いるように見えますが、定住に繋がるような仕事で募集してはいかがか。

町長

慣れない生活の中、地域協力活動に従事していただくことから、地域全体でコミュニケーションを図ると共に、任期中のサポート、フォローに努めながら、定住に繋げてまいりたいと考えています。

星野

益子焼協同組合、販売協会、観光協会、さらに観光ボランティアなどを一本化にし、益子カンパニーのように行政が出資し法人化にしてリーダーシップをとれるような協力隊に任せてはいかがか。また、後継者不足に悩む農家の方達に対しても六次産業や集落営農を法人化にして同じ事が言えるのではないのでしょうか。

観光商工課長

例えば大田原ツーリズムですが、ある程度実績を上げている組織があります。そちらを見据えて新ましく未来計画に上げています。運営者として協力隊の協力な参加というのにも検討の課題です。

日本遺産登録になったとしたら

星野

今の時代企業を誘致するのは難しいものがあります。今以上に観光、農業、地場産業などに力を入れなければなりません。町長はどのように考えるか。

町長

新ましく未来計画の中の取り組みに観光の基幹産業化、成長産業としての農業の確立、スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくりを進めていきたいと思っています。

星野

日本遺産に登録になったらどのようなように生かしていくのか。

町長

登録によってさまざまなスポーツに光が当たり経済面でも効果が出ると思います。大きいのは益子の各地域の人達が自分の地域に誇りを持てるという事にも繋がると思います。

星野

立派な道の駅が誕生したのですから、道の駅を拠点にして町おこしをしていかなければならないと思います。行政と我々町民が一緒に頑張って町づくりをしていくことが大事だと思います。



星野 壽男 議員



磯部 浩 議員

町長選を控え30年度の当初予算の配分は

どこに重点を置いているか

磯部

年度の当初予算を出すときは所信表明もされるのが慣例ですが、今回は4月に町長選を控えており、どのような思いで予算の配分をされたか。

町長

今日は、人口減少、少子高齢化の大きな流れの中にいる。この人口減少に歯止めをかけていくことが最優先の課題であり、当初予算で、この課題を克服し、目指すべき町の将来像、幸せな共同体・まじこを実現する事を念頭に編成をした。

磯部

子育て支援についてはどう予算化したか。

町長

地域で子供を育てるための拠点として、「子ども子育て支援拠点施設」をオーブンする。ソーシャル・ワーカーの配置による相談体制の充実、学校司書の増員、ICT教育のさらなる推進により、未来にはばたく人材を育てる。

磯部

議員の一般質問に対して、予算の編成に当たりどう配慮しているか。

副町長

100%反映はできないが、何年か先とか内容については配慮している。

磯部

依存財源を58%としている本町として、国・県の予算にどのように配慮して予算化しているのか。

副町長

3割自治に近い財政運営であり、町に合った国の予算を吸収しながら、国の交付税制度あるいは助成制度、補助金、交付金制度を有効に活用し予算総額を上げていく努力が私たちの役目であり、国の動き、情報に十分にアンテナを高く張って予算編成に努めている。

克服できる資源とは何か

磯部

出馬表明の取材で、人口減、少子化を克服できる資源が町にはあると表明されたがそれは何か。

町長

日本全体で40年以上かけて少子化が進んでいるのを2・3年で解決できるとは思わないが、新ましこ未来計画にある53項目を一個一個達成していく事こそが磨けば光る資源として発信していくことによって、必ず益子は人口問題、少子化問題は解決できると信じてやっていきたいと考えている。

こども食堂について

磯部

貧困の中にいる子供たちを支援する場が地域の中にあれば、子供たちは社

会とつながり、社会を知って元氣よく成長ができるという思いが私はしています。こども食堂の認識、背景についてはどう思うか。

町長

近年、経済的な貧困や家庭の事情により一人で食事をする子供が増えていくことを原因に、十分な栄養を摂取できない子供のために食事を提供する場と認識し、背景としては相対的な貧困率の上昇のほか、生活様式の変化が子供の生育環境に影響を及ぼし、その結果、子供への影響を危惧して行われている取り組みと考えている。

磯部

こども食堂は、別な見方をすれば親の病気や貧困、育児放棄といった環境にある子供たちを支援する子供たちの居場所づくりでもあると思います。県も県独自の取り組みとして「子どもの居場所事業」を立ち上げ県内市町に広げるためのサポート事業を始めているという情報があるが把握されているかアクセスはありましたか。

健康福祉課長

県からではありませんが、NPO法人の宇都宮まちづくり市民工房からそ

磯部

「子どもの居場所事業」は、県内の自治体がNPO法人などに委託し実施する事業で、建設中の「子ども子育て支援拠点施設」の事業については、県との連携、町民大学卒業生の「町子育て支援・S・I・E・N隊」と連携して、将来は「こども食堂」に発展することを期待する。

町内の県道の整備状況

磯部

県への陳情について、地域の要望を町はどのように支援していくのか。

町長

基本的には協働という事になると思う。毎年開催される県議会の「県土整備委員会」県道を管理している「真岡土木事務所長との意見交換会」等の席上直接要望している。実現を早めるには、地元自治会や自治会長、地権者のご理解やご協力が第一の条件と考えています。



読書を通して、子どもたちを 心の豊かな人間に育てよう！

日渡 益子昌平塾の木村昌平先生のお話によると、人財づくりは技術や知識といった認知能力を伸ばすことと、非認知能力と人間性を伸ばすことが大切であるとしています。（注・非認知能力とは、意欲・好奇心・集中心・忍耐力・共感性・協調性といったような能力のこと。）この非認知能力を育むのが心の交流であり読書である、と述べられているが全く同感です。本町における豊かな心育成のまち宣言に至るまでの経過と今後の具体的な取り組みについて伺います。

教員 新ましこ未来計画に基づき、昨年8月に策定

委員会を立ち上げ検討してきました。目的は家庭・学校・地域社会が連携し、人思いやり尊重できる豊かな人間性を持った人財を育成することです。具体的な取り組みとしては、チラシやポスターを作成し、全ての関係機関と連携して周知・徹底を図っていきます。

日渡 子どもの読書活動推進計画の作成の経過と今後の具体的な取り組みについて伺います。

教員 子どもの読書活動推進計画については8月に策定委員会を立ち上げ、12月に完成。情報通信端末が普及する昨今、いかに読書への関

心を高められるかを課題として基本方針を定めました。具体的な取り組みとして、本計画の概要版を3月に作成、全戸配布。毎月第4土曜日の益子町子ども読書の日に町全体で読書活動が活性化するように、読み聞かせ教室などのイベントを開催します。今年度オープンする子ども子育て支援拠点施設内では、本に親しめる環境整備を行っていく予定です。

日渡 益子町に滞在交流型図書館等の交流複合拠点の建物を望んでいます。町の図書館づくりの推進、図書館建設への着手の発言は私たちの提言と同じ方向性にあると理解してよろしいでしょうか。

町長 同じような思いで推進していきたいと考えています。

地域おこし協力隊員に益子を好きになってもらおう！

日渡 地域おこし協力隊の過去5年間の活動状況と現状について伺います。

町長 これまでに12名採用し、現在3名在職しています。

す。平成25年度には、益子サポーターズクラブの運営と国際工芸交流事業を進めるため採用し、その後、道の駅関連事業や歴史文化基本構想策定事業、土祭の企画運営等の事業のため継続的に募集してきました。

町長 改修後の施設概要は、客室5・現状のまま保存の御座所・平和をテーマとしたギャラリースペース・厨房設備・貸切風呂です。

日渡 退職した9名のうち6名が本町に定住しているのはすばらしいことです。研修してきた島根県邑南町では隊員に十分な研修を与えているが、本町でもぜひそれを取り入れさらに活躍してもらう、町内に定住していただくよう執行部が努力されることを求めます。

日渡 平成館改修工事の概要とNGO「平和発信の取り組みについて伺います。

地域おこし協力隊の主な活動分野
(自治体数、複数回答)

観光	616
1次産業	503
行政	236
起業	228
新聞・広報	183
タウンマネージャー	138
教育・保育	108
飲食業	108
医療・福祉	59
結婚支援	23

2008年	下野、真岡、壬生、鹿沼、日光、芳賀、足利、那須烏山、佐野、栃木、宇都宮、大田原、野木、市貝、小山、那須塩原、那須、さくら、矢板、上三川、高根沢、塩谷、益子、茂木、那珂川(予定)
09年	
10年	
11年	
12年	
13年	
14年	
16年	
17年	
18年	

は、世界各国の自治体の力を合わせて、核兵器のない平和な世界の実現に取り組むため世界の平和に向けての情報の共有を図っているところです。平成館を活用した平和の発信については、御座所を中心として当時の新聞記事・写真等の資料を紹介し、観覧された人が平和について感じ、考えることができる施設にしたいと考えます。

平成館改修工事の経緯を明確に記録・保存し、平和の発信の拠点にしよう！



岩崎 秀樹 議員

教育について

岩崎

下野新聞の特論の抜粋ですが、『私は、町PTA主催の益子町三中サミットに実行委員として参加しました。これは次世代の主役である子供達が、自分達の学校や地域に対する思いや理想を真剣に考え、議論し、夢を實現できる環境を作って上げた

いと願うPTA有志が始めた宿泊研修事業です。地域の大人や高校生が講師となり、生徒、講師それぞれの価値観を理解しながらいずれは参加した中学生にも講師として帰って来てもらいたいという、教育循環サイクルを目指した事業です。ただ、私たち大人はこのような場を設けるだけで

満足して良いのか。三中サミットは今年で7年目を迎えます。これは一期生が成人を迎えたことです。三中サミットを知っている人で、この事実を知っている人は何人いるでしょうか。子供達を見守っている大人は何人いるでしょうか。子供達を見守るべき私達大人は何を考えるべきなのか。数年を経て成長し、帰ってきた子供達をどのように迎えるのか。地元で育ち、地元を旅立ち、地元に戻り、地元を育てる、このような循環サイクルを醸成する機会が増えることを切に願います。』とありました。三中サミットの現状と今後の展開はどのようにお考えかお

尋ねします。

教員

三中サミットは中学生が中学校校区を超えた仲間達との交流により、自らの学校や地域について考えると共にリーダーとしての条件を学ぶことで将来社会に大きく貢献できる人材の育成を目的として行っている。三中サミットの主催はPTA役員で構成される益子町三中サミット実行委員会、芳賀青年の家を会場に1泊2日の日程で実施している。今年度は18名の生徒が参加し、講義やワークショップ等によりリーダーとしての心得やコミュニケーション能力について学んだ。2日間の交流で、他校の生徒達との輪が広がり、仲間づくりの場になっっている。教育委員会としても本来の趣旨を踏まえつつ、益子町三中サミット実行委員会の取組を支援していきたい。

岩崎

執筆者によると子供達の成長を願い、平成26、27、28年と3年に渡って三中サミットのプログラムの完成度を上げてきたそうですけど、プログラムの内容は把握しているのか。

生涯学習課長

昨年度まで心理カウンセラーの岩村さんをメイン講師にそれぞれリーダーとしての条件、みんなの意見をまとめてそれを発表するよいうな流れで進めていると聞いている。

岩崎

参加した中学生の中には高校の生徒会役員の方から教えていただいたことに感謝を受け、進学後後輩のお役に立ちたい一心から、高校の生徒会役員になり、スキルを磨いていたが、今年はプログラムが大幅に変わり出番がなく、非常に残念な思いしたと聞いたが、内容が大きく変わってしまった理由は。

生涯学習課長

実行委員会の計画によっても変わったり、実行委員の一部入替があるというようなことで、やりにくいので、4月から始めて3月に終わる仕組みにしようとした。今年度はこのやり方で一旦終了し、新年度はまた新たな研修を始めることになった。

岩崎

三中サミットの一環のテーマ、教育循環サイクルは上の子が下の子を教えるサイクルをつないでいくこと。これを深掘していくと、新ましこ未来計画の社会的に自立した人を育てるというテーマに帰着するのではないかと考えます。上の子が下の人に教えて、また教えてもらった人がその下に伝えていく、道徳教育でいえば恩送り、非常に素晴らしいプログラムだと思う。世代交代しても教育循環サイクルが変わらない三中サミットの基本プログラムのようなものをつくる必要性を感じますが、いかがお考えかお尋ね致します。

教員

平成21年6月15日に三中サミットの企画書ができ、非常に高邁な考えのもとこの活動をつないで9回目と記憶している。私達は事務局の立場です。今のようなど意見もあるということを踏まえて、変わらないもの、不易な部分、内容によって次世代の子供達に合わせて変えるもの、流行の部分、これをよく精査して、それを実行委員会に伝えてまいりたいと思っています。

将来的負担を軽減するために 公共施設等の維持管理の徹底を

直井 すでに公共施設等総合管理計画が策定され実施期間となっております。計画の中で、インフラ資産を含む全ての公共施設等の将来の更新等費用の不足額分を補うために公共施設等の延べ床面積の削減目標を16%とされていますが、どのように実施されるのでしょうか。

町長 公共施設を耐用年限で全て更新するという前提に立ち、充実可能な財源を考慮した場合に施設面積の削減目標が16%となっており、施設の更新を行う際には、その時点での人口構成や利用状況などから総合的に施設の規模を検討していかねければならないと考えております。

直井 インフラ資産の整備、維持管理の取り組みについて、財源上、道路や下水道の管理、増設には限りがあり、近い将来、管理の適正化を図る必要があると考えますが、町道や公共下水道における施策の指標となるガイドラインの規定等の見直しをすることはあります。

町長 町道の整備については、新ましこ未来計画に基づき、次世代につながる基盤整備とし、整備後には住宅地が造成されるような道路及び地域の特性や観光資源を活用できる回遊性を高める道路整備を考えております。維持管理

については、従来の事後的な修繕更新から定期的な点検及び計画的な修繕更新を行う予防保全型への転換を図っております。

下水道については、施設や管渠の長寿命化を図るために平成30年度にストックマネジメント計画を策定し、計画的な維持管理更新に努めてまいります。

直井 現在使用されていない遊休施設および町有地等を有効に活用するため、将来的負担も見据えてどのように運用される方針でしょうか。

町長 町独自の利活用の可能性や民間等への貸し出し、売却等を考慮に入れながら、維持管理費用の削減や将来負担の軽減に取り組んでまいりたいと考えております。

直井 現在使用されている閉校された学校施設においても、校舎や体育館、校庭など全面的に利用されておらず、間仕切りや出入り口の増設など簡易な改修を施し、テナントとして、個人の工房や本来の教育施設機能を活かした学習室など、積極的に活用

できるような運用していただきたい。

平成館を最大限活用するために



直井 改築費用の一部を贈うとされる企業版ふるさと納税の寄付金の現状と今後どのように取り組まれていく考えでしょうか。

町長 町に關係する企業を訪ねて、今後の活用方法について説明をさせていただき、ご理解とご協力をお願いしているところです。今後も企業訪問を繰り返してまいりたいと考えております。

直井 地方自治体の事業に対する、寄附を募るクラウドファンディングがあります。これは、地域おこしや地域のプロジェクトに対して、

個人的出資をもらう制度です。ぜひ、活用されるよう検討いただきたい。

また、天皇陛下が皇太子殿下であった当時、玉音放送をお聞きになったとされる居間に隣接するスペースをギャラリーとして活用することですが、どのような視点に立って活用されるのでしょうか。

町長 ギャラリーの展示を観光覧された一人ひとりが平和について感じ、考えることができる施設にしたいと考えております。

直井 平成館改修工事においては、地方創生交付金として国からの補助も得られ、益子らしい宿泊施設として新たに再生させることも、平成館を託された行政としての役割であると思います。また、運営される方々が益子の貴重な人材となるよう、サポート体制を図られることを望みます。

また、この改修事業が観光施策の一翼を担い、さまざまな施策へ波及されるよう、オープンまでの残された期間、滞ることなく、確実に実施されることを願います。



直井 睦 議員



議員 誠

河原

町の道德教育とは

河原 「道德」教育の内容と町の対応について、どのように考えているか。

教員

道德の時間については、小学校では平成30年度から特別の教科、道德として、いわゆる教科として実施されます。実施に当たっては、文部科学省検定済みの教科用図書を使用し、児童の授業中の学びの姿や成長の様子、これを認めながら、励ます評価をすることになっています。

また、価値内容として捉える内容項目については、まず「いじめ」への対応、これがかなり問題になってきまして、その対応などから第1、2学年では個性の尊重と公正、そ

して社会正義、第3、4学年では相互理解、寛容と公正、公平、社会正義、そして第5、6学年では、よりよく生きる喜びというものが新たに加わりました。また、もう一つの視点です。グローバル化への対応から第1、2学年では国際理解、国際親善が新たに加わったところです。

町教育委員会としては、平成28年度に田野小学校において、県教育委員会との連携協力のもと、道德教育応援チームの派遣を行い、道德教育及び道德の時間の授業改善等に向けた取り組みを支援してき

ました。

平成29年度には、県教育委

員会主催の道德教育推進教師等研修会、それから新任道德教育推進教師等の研修に教員を派遣させまして、児童・生徒の道德性の育成に向けた指導力の向上を図ってきました。また、学校においては、道德教育推進教師を中心に、学校全体で取り組む道德教育のあり方についての研修を行い、道德教育の充実が図れるよう、支援してきました。今後、道德について、県教育委員会が作成したリーフレットを保護者へ配布するなど、その趣旨や内容の周知を図っていき

たいと考えています。

また、児童の豊かな心を育み、生きる力を育てる道德教育の推進は、何といたっても家庭や地域、社会の支援も必要となりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

河原

学校における安全安心の確保のため、最優先される事項は何か。

教員

おかげさまで各小学校の防災機能強化工事も終了しまして、今後は、安全、安心な生活の確保として、不審者の侵入を防ぐことと考えています。平成13年6月に大

阪府池田市で学校に不審者が侵入し、児童が亡くなるという痛ましい事件がありました。また、昨年は県北の学校で窓ガラスが割られるという事件も発生しています。このようなことから、犯罪の抑止効果が見込まれる防犯カメラを平成30年度に各小中学校に設置したいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

河原

食育の要である給食のさらなる充実を図るため、どのような考えを持って

教員

学校給食は子供たちの心身の健全な発達、食に関する正しい知識と望ましい食生活を身につける上で重要な役割を担っていますので、安全で安心なおいしい学校給食の提供に努めてきました。

今後、学校給食のさらなる充実を図るため、学校給食摂取基準というものを踏まえて、栄養のバランスのとれた献立を作成していきたいと考えています。新しいメニューの提供や残量調査、アンケートの実施などにより献立も見直していきます。また、JAや芳

賀農業振興事務所と連携を図りながら、地元の食材を積極的に活用するとともに、安全で安心な農産物をより多く使用していきたいと、考えています。

河原

町有財産である旧小宅小学校等の遊休施設等について、有効利用の考えはあるのか。

町長

旧小宅小学校の校舎に

ついては、建物自体が老朽化していて、耐震化もされていない状況で、安全性の確保を図るに当たっては、かなりの費用負担が発生すると予想されることから、現在は庁舎内で不足している書庫として利用しています。また、体育館についても同様の理由から、町のイベント等の物品、資料置場として利用しています。ただし、30年度は「土察」においてアート会場として利用する予定となっていますので、これをきっかけとして多方面から活用の可能性について検討していきたいと考えています。

議会定例会の閉会中の継続調査についてたくさん審議しました！ ～1月・2月・3月実施分～

- 高齢者・障がい福祉計画
- 鳥獣害対策
- 町有林管理
- 国民健康保険事業
- 文化財の保存活用
- 婚活
- ハイパー QU 調査（学級満足度・学校生活意欲尺度調査）

教育厚生
常任委員会

8 項目

●高齢者総合福祉計画

【改善意見】

人口推移と実態との乖離が見られるので検討を。各事業の見込み数に数値が示されていない項目もあり改善が必要。

●障がい福祉計画等

【改善意見】

パラリンピック選手の育成も見据えスポーツ推進拡充を。教育の充実では、児童生徒のみならず指導する教諭の研究の盛り込みも必要。

●鳥獣害対策（議会報告会より）
イノシシのほか、ハクビシ

ン、アライグマも捕獲される。処分については、廃棄物処理法により私有地のもものは行政で対応できない。

●町有林管理（議会報告会より）

【改善意見】

前沢町有林は山桜・紅葉の育成促進のほか補植、遊歩道整備の推進が必要。

●国民健康保険事業

【改善意見】

特定検診受診率向上のためにも健康ポイント制度を活用。社会保険加入者にも制度の周知を。

●文化財の保存活用

【改善意見】

文化財保存基金を設置してはどうか。眠っている文化財の活用や防火施設の配慮を。

●婚活

【改善意見】

民間委託や少数募集も有効ではないか。結婚への意識が薄れる中、結婚セミナー等を開催しては。

●ハイパー QU 調査

学校生活適応指導教室で先生の話聞いた後、QU調査の結果や有用性について審議。



つばさ教室現地調査

【改善意見】
今後調査結果を有効に活用されることを期待。

- 平成館改修工事の進捗状況
- 移住・定住推進事業
- 公共下水道工事の進捗状況
- 益子焼販路拡大の推進
- 所有者不明の土地と建物
- DC※に向けての取り組み

総務産業
常任委員会

6 項目

※ディスティネーション・キャンペーン（JRの観光CP）

●平成館改修工事の進捗状況

（議会報告会より）

耐震については当時の基準で問題ないが、今の基準に近づけるよう筋交などで対応。ギャラリーの展示物は宮内庁や新聞社の協力を得る予定。2月は書類・現地調査を実施。

【改善意見】

宮内庁に早い段階で挨拶に伺うべき。運営者も早めに決めるべき。建築費に関して一般会計からの持ち出しは避けるべき。ふるさと納税獲得に努力を。



平成館改修工事現地調査

●移住・定住推進事業

【改善意見】

賃貸住宅による移住者への補助金制度の見直しを。定住に結びつく地域おこし協力隊の必要人員確保を。

●公共下水道工事の進捗状況

埴・星の宮地区の整備率は計画の3割強。同意率が8割未満の区域は当面整備しない。

【改善意見】

今後水洗化率の向上、料金の適正化を図ること。老朽化等による修繕費用・維持管理費用の確保に努め健全運営を。

●益子焼販路拡大の推進

【改善意見】

他の産地では地元普及率が高いと聞くので、条例制定後の普及率を調査しては。継続的な新商品開発とその検証を。

●所有者不明の土地と建物

所有者不明には、居所不明や相続放棄などがある。現在国でも所有権移転の簡易化を検討している。

【改善意見】

所有者不明の土地建物が増加しないよう、公益に被害が生じないよう努力されたい。

●DCに向けての取り組み

（議会報告会より）

観光施設の看板等については、日本遺産・歴史文化関係の補助金等を視野に入れて設置を予定。

町民の声



森田 聡子 さん

ましこサンキュー隊メンバー、笑顔のコーチング・笑い文字講師、笑いヨガリーダー、益子中学校評議員、元中・高PTA副会長
家庭教育支援等のボランティア活動をしています。

ありがとうで笑顔あふれるましこ

旧家に生まれ、実家近くには新宅が5×6軒あり、四世代4人兄弟の3番目の私は、大家族の中でみんなに支えられこの益子で暮してきました。

春先に懐かしく思い出すのは、家門前の広大なれんげ草畑です。寝転んだり首飾りを作ったり遊んだりしたこと、子や孫たちにもこの夢のような体験をさせてあげたいですね。

道の駅ができ、今では賑わいのある観光地となりましたが、あの周辺は女子高時代の自転車通学路でした。交通も不便な田舎暮らしから抜け出たくて東京の学校に進学しましたが、卒業後は帰郷するという父との約束があったお陰で、現在も町民として益子に住んでいます。そして今、家族や地域の多くの方々に助け支えられ過ごせてい

ることに感謝の気持ちでいっぱいです。

私は地域に広めたいという想いで、ボランテアで活動している事が幾つもあります。全て「笑」がつくものですが、その中の一つに笑顔コーチング講師の活動で夢レター「一年後の自分に手紙を書く」イベントがあります。道の駅やTOYBOX、子育てサークル、高校の授業のほか、益子中文化祭では4年連続で開催させていただき、皆さんの笑顔を引き出せる夢の応援活動をしています。

また今後は、町民大学五期生A班で結成しましたましこサンキュー隊員として、ありがとうカードの普及活動で、笑顔あふれるまちづくりに取り組みます。町民同士の思いやりや感謝と喜びを循環させることができ

れば、楽しく住みやすい町になるのではないだろうか。町民として、ありがとうの気持ちを大切にして魅力あるまちづくりに励みます。皆さんもサンキュー隊活動にご参加くださいませ。最後にましこ検定受験のお勧めです。私は2月に受験しました。町について知らないことが多く、奥深い歴史等を勉強し50問の難問を解き、合格証を手にする事ができました。特製缶バッジのプレゼントもあり、また、合格証持参で陶芸美術館、メッセ入館料が1年間無料になるのも魅力です。この特典を利用して私は施設にたくさん足を運んでみたいと思っています。町民の皆さん、議会の皆さんもぜひ、ましこ検定にチャレンジしていただきたいと思っています。



議会報告会を開催します！

昨年10月に続き、再度開催します。今回は決算について報告しましたが、今回は当初予算についてです。ぜひ、お気軽にご参加ください。

広報広聴
常任委員会

平成30年度の
当初予算を解説！



議会報告会での意見で常任委員会に付託されたものは、11ページの常任委員会活動をご覧ください。

あなたも議会を 傍聴しませんか

次回6月5日(火)10時開会

本会議当日、3F議会事務局で傍聴券を交付します。予約不要。

5月13日(日)午後1時30分から
中央公民館 2階研修室

5月16日(水)午後7時から
益子駅舎 2階多目的ホール

いずれも議会報告会のあと意見交換会を行います。
～みなさんの声を議会に届けてみませんか？～